

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会

プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「 薬剤師が担う地域包括ケアシステム 」

(2025 年 9 月 7 日 日曜日【午前】)ハイブリッド開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（CPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号 P02）を取得しております。】

地域包括ケアシステムが2025年の目標に向けて様々な取り組みが進められている一方で、多くの課題に直面している状況ではあり、その中でも薬剤師も様々な形でこの地域包括ケアに取り組んでいます。本研修会では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう支援する地域包括ケアシステムに、薬局薬剤師がさらに積極的に関わる必要性を探ります。現在の地域医療活動と地域の包括ケアシステムを見つめ直し、薬剤師自身の役割と今後の具体的な取り組みを考察します。

また、精神障害を持つ人々が安心して生活できる精神障害にも対応する地域包括ケアシステム（にも包括）に焦点を当てます。医療、福祉、住まい、社会参加などが包括的に確保されるこのシステム構築において、多職種連携のなかで薬剤師がどのような役割を果たすべきかについて、薬剤師としての自身の貢献を深く考えます。どちらのセッションも、講義とグループワークを通じて、参加者それぞれの役割と今後の取り組みを具体的に考えることを目的としています。地域医療における薬剤師のさらなる貢献について、共に考えていきましょう。

今回は、オンラインでの参加の場合、ZOOMを使った参加となります。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC（カメラとマイク付き）、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。（細則による必須領域：A. G. J）

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2025 年 9 月 7 日（日）【午前】 9:20～12:30
3	研修会場	現地会場：アーバンネット神田カンファレンス 〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目6-2 アーバンネット神田ビル オンライン会場：ZOOM ハイブリッドでの研修会になります。Zoomを利用したオンラインでご参加の方はお申し込みで入力したメールアドレスに配信 URL を送付いたしますので、開始時間になりましたら、その URL をクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師：2 単位（認定薬剤師単位）、医師：3 単位（更新のための単位※但し 1 日単位は 5 単位上限とする）
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	現地40 名オンライン 50 名「スモールグループ形式」
7	受講申込	締め切り:2025 年 8 月 22 日(金)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5, 500 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 4, 000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

問い合わせ先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp

プログラム

2025 年 9 月 7 日（日曜日）

9:20～12:30	「薬剤師が担う地域包括ケアシステム」 講師：石橋幸滋
※休憩 10 分 を含みます	1 コマ目：地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割 薬局薬剤師は様々な形で地域医療に取り組んでいます。薬剤師としてさらに積極的に地域医療の要である地域包括ケアシステム（高齢者が要介護状態になっても住み慣れた場所で自分らしい暮らしを最後までおくれるように、地域が一体となり支援体制を構築する仕組み）に取り組んでいく必要があります。 そこで、このセッションでは講義とグループワークを通して、自分が取り組んでいる地域医療活動や、自分が暮らす地域の包括ケアシステムを見直すことで、自らの役割と今後の取り組みを考えてみたいと思います。 講演形式：講義＋グループワーク 2 コマ目：精神障害にも対応する地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割 精神障害の有無や程度にかかわらず、精神障害者が安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステム（にも包括）の構築を目指す必要がありますが、この活動において薬剤師がどのような活動をすべきかについて、講義とグループワークを通して自らの役割と今後の取り組みを考えてみたいと思います。 講演形式：講義＋グループワーク （細則による必須領域 A, G, J）

20 分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：石橋幸滋（医師）

所属：石橋クリニック 院長、プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会、東京科学大学医学部臨床教授、
東久留米市医師会地域医療担当理事、北多摩北部医療圏地域医療構想調整会議座長 他